

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ヒト死後固定脳および凍結脳の組織化学的・生化学的手法を用いた神経変性疾患の分子病態の解明と治療法開発（新潟大学からの試料提供）
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象者：2001年4月1日以降、新潟大学脳研究所病理学分野で病理診断された患者さんの中で、ご遺族が組織を研究や教育のために利用することに文書で同意されている患者さんが対象です。	
③概要	
認知症性疾患に対する治療方法を模索するため、様々な認知症性疾患（アルツハイマー病、軽度認知機能障害、進行性核上麻痺、大脳基底核変性症、前頭側頭葉変性症、嗜銀顆粒性認知症、慢性外傷性脳症、筋強直性ジストロフィー、血管性認知症、レビー小体型認知症、パーキンソン病、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症）の方々を対象としてたんぱく質の解析を行います。今回、解剖にご協力いただいた方の中から、診断の際に作製した標本を共同研究として使用いたします。 また、幅広く臨床情報を解析し病気とのかかわりを明らかにするために、臨床情報を共同研究先と共有させていただく可能性がございます。 対象となるご遺族様におかれましては、本研究にぜひともご協力いただきたくお願い申し上げます。なお、承諾されないという場合は、下記「⑪お問い合わせ先」までご連絡ください。承諾されないというご判断は尊重され、ご遺族様が不利益を被ることはございません。	
④申請番号	2026-0133
⑤研究の目的・意義	本研究は、認知症性疾患（アルツハイマー病やパーキンソン病、前頭側頭型認知症）を対象とします。異常蛋白質の蓄積が、これら異なる神経変性疾患の発症に繋がる病態機序の解明を目的とします。 それらの疾患の治療法開発や、介護負担の軽減、医療費の抑制につながると考えています
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2030年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟大学脳研究所病理学分野のスタッフにより、病理解剖にて採取した脳組織（凍結保存脳組織、並びにホルマリン固定後パラフィン包埋組織の未染色標本）および付随する患者さんの情報（診断、発病期間、治療経過、処方歴）を共同研究先に提供します。 また、臨床情報の解析においては、年齢、性別、診断名、病理組織化学検査の結果、生活歴、病歴、臨床検査の結果、服薬歴、家族歴も提供する可能性があります。 新潟大学脳研究所から共同研究先に試料を送る際には特定の個人を特定することができないように匿名加工をした状態で提供し、対応表は提供

	しません。
⑨利用または提供する情報の項目	認知症研究では死後脳組織、および、それに付随する臨床情報（脳組織所見、症例番号、年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報（診断、発病期間、治療経過、処方歴、家族歴）を提供いたします。
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学脳研究所病理学分野 柿田明美 共同研究機関： 大阪公立大学大学院医学研究科 神経疾患制御学 上村 紀仁 理化学研究所 生命医科学研究センター 山形 敦史
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所病理学分野 柿田明美 共同研究機関： 研究代表者：大阪公立大学大学院医学研究科 神経疾患制御学 上村 紀仁 研究責任者：理化学研究所 生命医科学研究センター 山形 敦史
⑩お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 新潟大学脳研究所病理学分野 柿田明美 電話：025-227-0633 FAX: 025-227-0817 e-mail: kakita@bri.niigata-u.ac.jp。